資料２－１

本市におけるごみ処理の現状と将来動向

１．ごみ処理の現状

糸魚川市の平成 21 年度のごみ処理の実績は以下の通りです。

平成 21 年度のごみ収集量は 18,130t であり、このうち 13,682t を清掃センターで処理し、3,092t の炭化物を生産しています。炭化物は処理したごみの 22.6%にあたります。

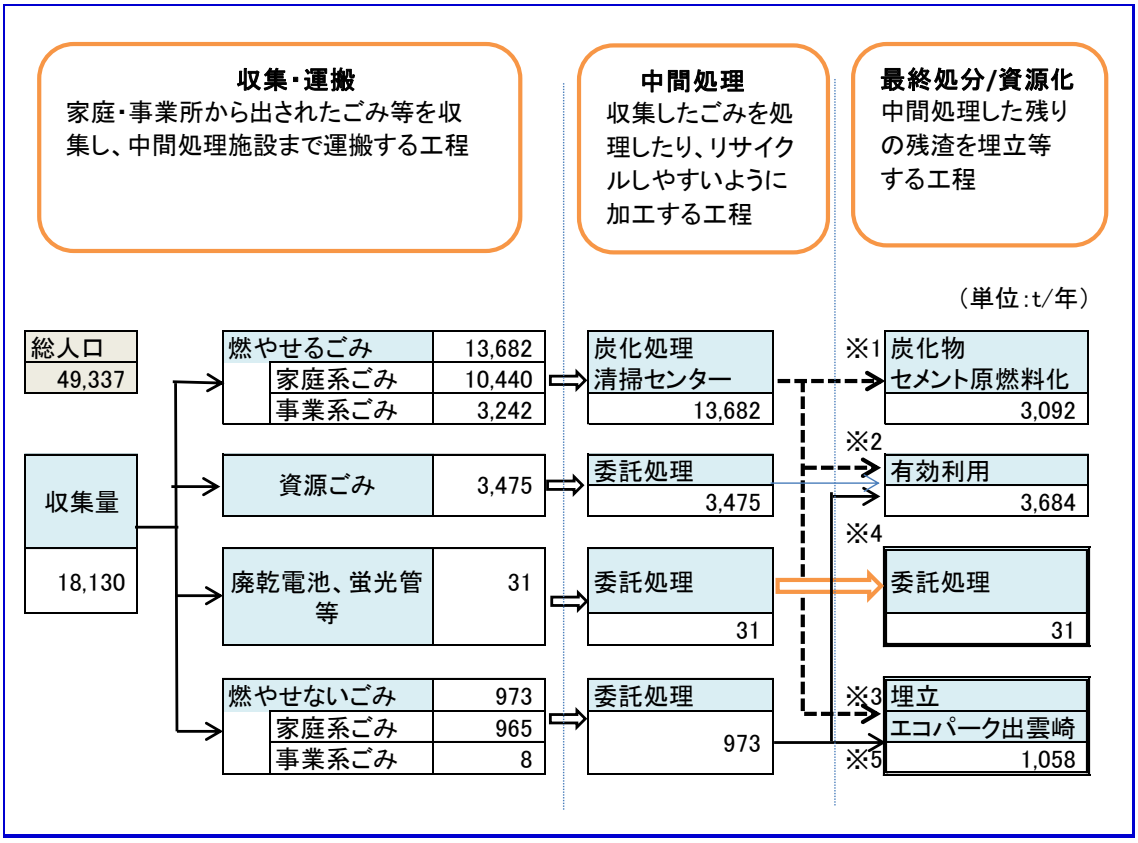

図1　糸魚川市の平成 21 年度のごみ処理・処分実績

※1：炭化物生成量　3,092t

※2：清掃センターで選別された鉄/アルミ　14t

※3：飛灰処理量、残渣量　272t

※4：燃やせないごみから選別された鉄/アルミ 232t

※5：燃やせないごみ処理残渣　741t

埋立量にはし尿焼却灰 45t を含む

２．ごみ量の推移とごみの減量目標（ごみ処理基本計画資料編 8 ページ）

（１）ごみ量の推移

糸魚川市の一般廃棄物（ごみ）量の推移と、下記の減量目標に基づく予測は図２の通りです。

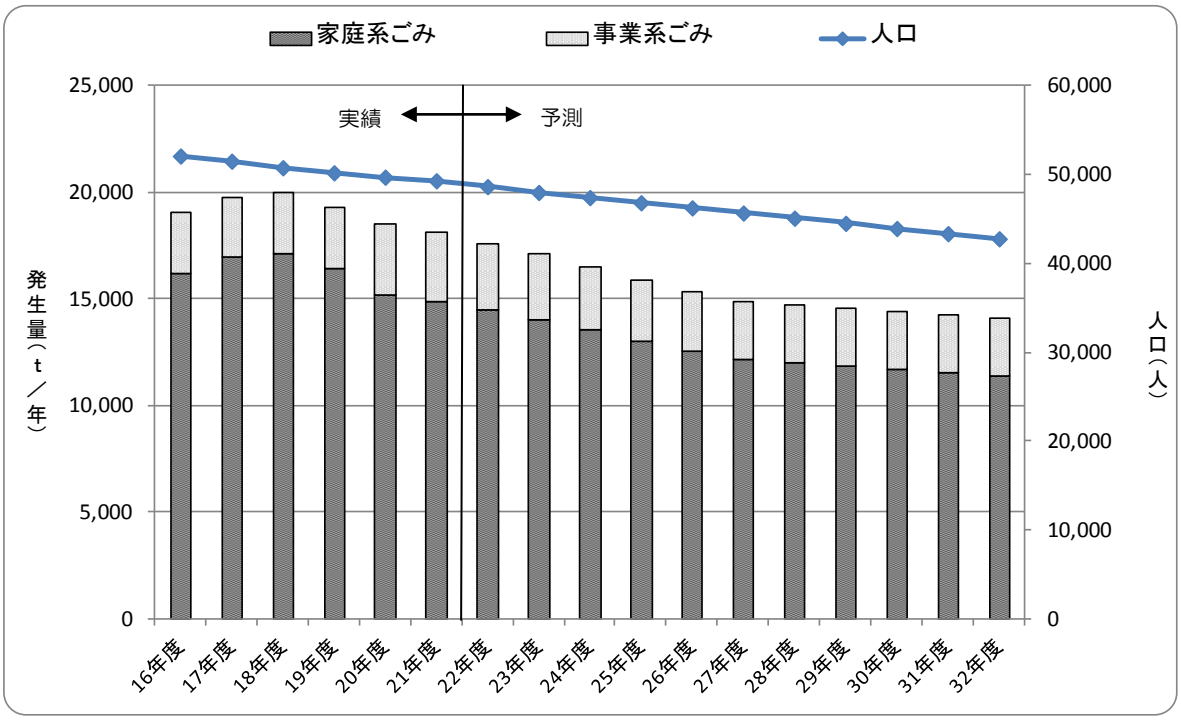

図２　ごみ量の推移と予測

（２）ごみ量の減量目標

ごみの減量目標（基本計画 36～37 ページ）

１．家庭系ごみの減量目標

１人１日あたり平成 27 年度において　５５０ｇをめざす。

（H21 年度実績は、633ｇ）

２．事業系ごみの減量目標

平成 27 年度において　２，７００ｔをめざす。

（H21 年度実績は、3,250ｔ）

３．発生抑制の目標

一人１日あたり平成 27 年度において８９０ｇをめざす。

（H21 年度実績は、1,007ｇ）